



北陸用地だより

第90号

令和8年1月5日



～年頭のご挨拶～

代表取締役社長 酒井俊一

新年明けましておめでとうございます。
お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、令和6年1月に発生した能登半島地震等による災害復旧事業関連業務、公費解体関連業務等で大変ご苦労おかけしました。

今年も災害復旧事業関連業務で忙しくなるかと思いますが、北陸地域の復旧・復興に向け、少しでも貢献できるよう引き続きよろしくお願ひ致します。

社員皆様にとって、健康で心穏やかな一年となることを祈念しております。

令和8年 元旦



～お知らせ～

新年あけましておめでとうございます。

本年の干支は「丙（ひのえ）の馬」。

干支の組み合わせにはそれぞれ象徴的な意味があり、「丙」は太陽が昇り万物が成長する“発展・成熟の気”を表し、「馬」は俊敏さと行動力を象徴するといわれています。この二つが重なる丙午（ひのえうま）は、勢いよく物事が展やすい年とされています。

私たちの組織にとっても、まさに“スピードと成長”が鍵となる一年です。外部環境の変化が続く中、変化を恐れず、学び、動き、形にする力が求められています。丙の馬の持つ活力にあやかり、社員一人ひとりが自分らしく躍動し、組織全体が前向きなエネルギーに満ちた一年にしていきましょう。

「熊」被害の収束を願い

昨年12月12日、京都の清水寺で、1年の世相を表す「今年の漢字」が発表されました。はがきやインターネットなどを通じて寄せられた18万9122票の投票の結果、2025年の漢字は「熊」に決定しました。米の品薄や大阪・関西万博の開催などの話題もあった中、全国各地で相次いだクマの出没が、特に強い印象を残したようです。

新潟では、唯一、クマが出没しない弥彦山や角田山にシルバー登山家が押し寄せていることです。

SNSに、クマが「人」と書いているフェイク写真が載っていましたが、さもありなんと思わせるものでした。

ちなみに、2024年は「金」、2023年は「税」、2022年は「戦」でした。
さて、今年はどんな年になるのでしょうか。

久しぶりにサラリーマン川柳から

スポーツジム 車で行って チャリをこぐ
 「ちがうだろ！」妻が言うなら そうだろう
 ノーメイク 会社入れぬ 顔認証
 効率化 進めて気づく 僕が無駄
 「マジですか」上司に使う 丁寧語
 減る記憶 それでも増える パスワード
 父からは ライン見たかと 電話来る



当社の賀状です

笑えますよね！ それでも私の好きなのは「シルバー川柳」

歩こう会 アルコール会と 聞き間違え
 LED 使い切るまで 無い寿命
 起きたけど 寝るまでとくに 用もなし
 改札を 通れずよく見りや 診察券
 恋かなと 思っていたら 不整脈



今年もよろしくお願ひいたします！

「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

- ①昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない
- ③休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
- ④ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない
- ⑤ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング
- ⑥イブニング・ノーリクエスト (R5. 6から)



○必見！ ホームページをご覧ください！ 新たな情報等があれば教えて下さい

www.hokurikuyouchi.co.jp

○お願い！ 「Aipo」を活用しましょう